

Dir

Dir

ディレクトリのファイルとサブディレクトリの一覧を表示します。パラメータを指定せずに **dir** を実行すると、ディスクのボリューム ラベルとシリアル番号、さらにディスク上のディレクトリとファイルの名前と最終変更日時の一覧が表示されます。ファイルについては、拡張子付きのファイル名とバイト単位のファイル サイズが表示されます。また、一覧表示されたファイルの合計数、その累計サイズ、およびディスクに残っている空き容量 (バイト単位) も表示されます。

構文

```
dir [Drive:][Path][FileName] [...] [/p] [/q] [/w] [/d] [/a[:Attributes]] [/o[:SortOrder]] [/t[:TimeField]] [/s] [/b] [/l] [/n] [/x] [/c] [/4]
```

パラメータ

[Drive:][Path]

一覧を表示するドライブとディレクトリを指定します。

[FileName]

一覧を表示する特定のファイルまたはファイルのグループを指定します。

/p

一覧を一度に 1 画面ずつ表示します。次の画面を表示するには、任意のキーを押します。

/q

ファイルの所有者情報を表示します。

/w

一覧をワイド形式で表示します。各行には、最高 5 つのファイル名またはディレクトリ名を表示します。

/d

/w と同じですが、ファイルは縦方向に並べ替えられます。

/a [[:] Attributes]

指定した属性を持つディレクトリとファイルの名前だけを表示します。**/a** を省略すると、隠しファイルとシステム ファイルを除くすべてのファイルの名前が表示されます。**Attributes** を指定せずに **/a** を使うと、隠しファイルとシステム ファイルを含め、すべてのファイルの名前が表示されます。次の一覧は **Attributes** に指定できる値を示しています。コロン (:) は省略可能です。これらの値をスペースで区切らずに任意に組み合わせます。

値	説明
h	隠しファイル
s	システム ファイル
d	ディレクトリ
a	アーカイブ属性の設定されたファイル
r	読み取り専用ファイル
-h	隠されていないファイル
-s	システム ファイル以外のファイル
-d	ファイルだけ (ディレクトリは含まない)
-a	前回のバックアップから変更されていないファイル
-r	読み取り専用でないファイル

/o [[:]SortOrder]

表示するディレクトリ名とファイル名を並べ替える順序を指定します。**/o** を省略すると、ディレクトリ名とファイル名はディレクトリに配置されているそのままの順序で表示されます。**SortOrder** を指定せずに **/o** を使うと、ディレクトリ名がアルファベット順に並べ替えられて表示され、次に、ファイル名がアルファベット順に並べ替えられて表示されます。コロン (:) は省略可能です。次に、**SortOrder** に指定できる値を示します。これらの値をスペースで区切らずに任意に組み合わせます。

値	説明
n	名前のアルファベット順
e	拡張子のアルファベット順
d	日付と時刻順で古い方から
s	サイズ別に小さい方から
g	ファイルの前にグループ化されたディレクトリ
-n	名前の逆アルファベット順 (Z から A)
-e	拡張子の逆アルファベット順 (.ZZZ から .AAA)

-d	日付と時刻順で新しい方から
-s	サイズ別に大きい方から
-g	ファイルの後にグループ化されたディレクトリ

/t [[:]TimeField]

どの時刻フィールドを表示するか、または並べ替えに使うかを指定します。次に、*TimeField* に指定できる値を示します。

値	説明
c	作成
a	最終アクセス
w	最終書き込み

/s

指定したディレクトリとすべてのサブディレクトリで、指定したファイル名のすべてを一覧表示します。

/b

ファイル名拡張子を含む各データ名またはファイル名を 1 行に 1 つずつ一覧表示します。**/b** では、ヘッダー情報や概要は表示されません。**/b** は、**/w** よりも優先されます。

/l

ディレクトリ名とファイル名を並べ替えずに小文字で表示します。**/l** を指定しても、拡張文字や全角文字は小文字に変換されません。

/n

長い一覧形式で表示します。ファイル名は、画面の右端に表示されます。

/x

NTFS および FAT ボリューム上のファイル用に生成された短い名前を表示します。表示状態は **/n** の場合と同じですが、長い名前の後に短い名前が表示されます。

/c

ファイル サイズを桁区切り表示します。

/4

年数を 4 桁で表示します。

/?

コマンド プロンプトにヘルプを表示します。

解説

- 複数の *Filenames* を使用する
複数の *Filenames* を使用できます。スペース、コンマ、またはセミコロンでファイル名を区切ります。*FileName* でワイルドカード文字 (? と *) を使うと、ファイルのグループを表示することができます。
 - ワイルドカード文字を使用する
アスタリスク (*) や疑問符 (?) などのワイルドカード文字を使用して、ファイル名の 1 つ以上の文字を表したり、ファイルまたはサブディレクトリのサブセットを表示したりできます。
アスタリスク (*): 文字列の代用としてアスタリスクを使用します。たとえば、次のように入力します。
 - dir *.txt** 現在のディレクトリ内にある、.txt、.txt1、.txt_old などの .txt で始まる拡張子が付くファイルをすべて表示します。
 - dir read*.txt** 現在のディレクトリ内にある、.txt、.txt1、.txt_old などの .txt で始まる拡張子が付く、"read" で始まるファイルをすべて表示します。
 - dir read*.*** 現在のディレクトリ内にある、"read" で始まるすべてのファイルを拡張子を問わずに表示します。
- アスタリスクのワイルドカードでは、常に短いファイル名のマッピングが使用されるため、予期しない結果を得る場合があることに注意してください。たとえば、次のディレクトリには t.txt2 と t97.txt の 2 つのファイルが格納されています。

「dir t97*」と入力すると、ファイル t97.txt が返されることが予期されるかもしれませんが。ただし、「dir t97*」と入力すると、両方のファイルが返されます。これは、アスタリスクのワイルドカードが、短い名前のマップ T97B4~1.TXT を使用したファイル t.txt2 ~ t97.txt と一致するからです。同様に、「del t97*」と入力すると、両方のファイルが削除されます。

疑問符 (?): 名前における 1 文字の代用として疑問符を使用します。たとえば、次のように入力します。

- **dir read???.txt** 現在のディレクトリにある、"read" とそれに続く最大 3 文字で始まる .txt 拡張子のファイルを表示します。これらのファイルには、Read.txt、Read1.txt、Read12.txt、Read123.txt、Readme1.txt などがありますが、Readme12.txt は該当しません。
- ファイルの表示属性を指定する
Attributes に複数の値を入力して **/a** を使用すると、指定したすべての属性を持つファイルの名前のみが表示されます。たとえば、**/a:r-h** または **/ar-h** のように、属性として **r** と **-h** を付けて **/a** を使用すると、隠されていない読み取り専用ファイルの名前だけが表示されます。
- ファイル名の並べ替えを指定する
SortOrder の値を複数指定すると、まず最初の基準によって、次に第 2 の基準によってというようにファイル名が並べ替えられます。たとえば、**/o:e-s** または **/oe-s** のように、*SortOrder* の値として **e** と **-s** を付けて **/o** を使用すると、ディレクトリとファイルの名前が最も長いものから先に拡張子別に並べ替えられて、結果が表示されます。拡張子のアルファベット順に並べ替えると、拡張子が付いていないファイル名が最初に表示され、次にディレクトリ名、最後に拡張子が付いているファイル名が表示されます。
- リダイレクト文字とパイプを使用する
 リダイレクト文字 (**>**) を使って **dir** の出力をファイルに送るか、パイプ (**|**) を使って **dir** の出力を別のコマンドに送る場合は、**/a:-d** および **/b** を使ってファイル名だけを一覧表示します。**/b** および **/s** と共に *FileName* を使うと、現在のディレクトリとそのサブディレクトリで *FileName* に一致するすべてのファイル名を検索するように指定できます。**dir** を実行すると、表示するファイル名ごとに、ドライブ文字、ディレクトリ名、ファイル名、およびファイル名拡張子だけが、1 行に 1 バスずつ一覧表示されます。リダイレクトにパイプを使用する前に、Autoexec.nt ファイルで環境変数 TEMP を設定します。
- **dir** のパラメータを事前に設定する
 Autoexec.nt ファイルに、**set** を使って環境変数 **DIRCMD** を設定することで、**dir** コマンドのパラメータを事前に設定できます。**set dircmd** では、ファイルの場所と名前を含み、有効なものであれば、どのようなパラメータの組み合わせを指定してもかまいません。
 たとえば、環境変数 **DIRCMD** を使ってワイド表示形式 (**/w**) を既定の形式として設定するには、Autoexec.nt ファイルに次のコマンドを記述します。
set dircmd=/w
dir コマンドを実行するときに、環境変数 **DIRCMD** を使ってパラメータを無効にすることができます。これを行うには、**dir** コマンドプロンプトで、マイナス記号に続けて無効にするパラメータを入力します。たとえば、次のように入力します。
dir /-w
DIRCMD の既定の設定を変更するには、次のように入力します。
set=NewParameter
 新しい既定の設定は、もう一度 **set dircmd** を実行するまで、またはコンピュータを再起動するまで、それ以後のすべての **dir** コマンドで有効です。
 すべての既定の設定をクリアするには、次のように入力します。
set dircmd=
 環境変数 **DIRCMD** の現在の設定を表示するには、次のように入力します。
set
set は、環境変数とその設定の一覧を表示します。環境変数の設定の詳細については、「関連項目」を参照してください。
- **dir** コマンドで他のパラメータを指定する場合は、回復コンソールで実行できます。

例

アルファベット順、ワイド形式で、すべてのディレクトリを一覧表示し、一画面ごとに一時停止するには、ルートディレクトリが現在のディレクトリになっていることを確認してから、次のように入力します。

```
dir /s/w/o/p
```

ルートディレクトリの名前、ルートディレクトリにあるサブディレクトリの名前、およびルートディレクトリにある拡張子を含むファイルの名前が一覧表示されます。次に、ディレクトリツリーの各サブディレクトリにあるサブディレクトリ名とファイル名が一覧表示されます。

上記の例を、ディレクトリ名を表示せず、ファイル名と拡張子が表示されるように変更するには、次のように入力します。

```
dir /s/w/o/p/a:-d
```

ディレクトリー一覧を印刷するには、次のように入力します。

ir > prn

prn を指定すると、ディレクトリー一覧は LPT1 ポートに接続されているプリンタに送られます。プリンタが別のポートに接続されている場合は、**prn** を正しいポート名に置き換える必要があります。

また、**prn** をファイル名に置き換えて、**dir** コマンドの出力をファイルにリダイレクトすることもできます。パスを入力することもできます。たとえば、**dir** の出力をディレクトリ Records のファイル Dir.doc に送るには、次のように入力します。

dir > \records\dir.doc

Dir.doc が存在しなければ、Records ディレクトリも存在しない場合を除き、Dir.doc が作成されます。Records ディレクトリが存在しない場合は、次のメッセージが表示されます。

指定されたパスが見つかりません。

ドライブ C のすべてのディレクトリで、拡張子が .txt のすべてのファイルの一覧を表示するには、次のように入力します。

dir c:*.txt /w/o/s/p

各ディレクトリにある、拡張子が .txt のファイル名がアルファベット順にソートされた一覧がワイド形式で表示されます。画面単位で一時停止し、キーが押されると次の画面が表示されます。

表記規則

表記	説明
斜体	ユーザーが指定する必要がある情報
太字	表記されているとおりに入力する必要がある要素
省略記号 (...)	コマンド ラインで繰り返すことができるパラメータ
角かっこ ([])	オプション項目
中かっこ ({ }) で囲まれ、パイプ () で区切られた選択肢。例: {even odd}	ユーザーが 1 つだけ選択しなければならない選択肢
等幅フォント	コードまたはプログラムの出力

関連項目

[コマンドライン リファレンス¹](#)

[コマンド シェルの概要²](#)

[Attrib³](#)

[Tree⁴](#)

[Set⁵](#)

[コマンド リダイレクト演算子を使用する⁶](#)

リンク テーブル

¹[http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc778084\(v=WS.10\).aspx](http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc778084(v=WS.10).aspx)

²[http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc737438\(v=WS.10\).aspx](http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc737438(v=WS.10).aspx)

³[http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc772880\(v=WS.10\).aspx](http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc772880(v=WS.10).aspx)

⁴[http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc773185\(v=WS.10\).aspx](http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc773185(v=WS.10).aspx)

⁵[http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc772691\(v=WS.10\).aspx](http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc772691(v=WS.10).aspx)

⁶[http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc772622\(v=WS.10\).aspx](http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc772622(v=WS.10).aspx)

コミュニティ コンテンツ

© 2011 Microsoft. All rights reserved.